

東信電気株式会社 御中

作成 2022年09月06日

新商品開発プロジェクト

~draw line~

グループ 2

商品企画部門

S

T

設計開発部門

E

資材製造部門

K

品質管理部門

N

営業部門

W

1

● Agenda ~本日の流れ~

概要

商品概要

開発体制

課題

今後の計画

製品の概要
開発背景と狙い
この商品の必要性

商品の詳細

メンバーと
その役割

現状と理想
から考える
課題

今後のスケ
ジュール

2

● 概要

製品概要

Bluetoothでデバイスと接続することで、壁や床などあらゆる場所で文字を書くことができ、スマートフォンやタブレットのタッチペン、さらにPCのマウスとしても使用することができるペン

開発背景と狙い

PC上に文字を書きたいときに、ペントップを置くスペースがない場合や、マウスからペントップに持ち変えることが面倒である場合があるため、省スペースでペントップとマウス両方の役割を持つものが欲しいと考えたため。

3

● 概要

この商品の必要性

- ・ 大多数の人がスマートフォンを利用している現代において、PCをスマートフォンと同じように直感的かつ素早く操作することができるようになると、様々な作業効率上がり、PCの利便性が従来の商品よりもはるかに向上する。
- ・ 今後の消費の中心となっていくZ世代の特徴として、効率性を重視する、価値観を見出したものに対しては支出を惜しまないといったことがあることから、作業効率の向上が見込めるこの商品は若い世代を中心に利益が見込めるのではないかと。

4

● 商品概要

ターゲット 市場	企業 教育現場
コンセプト	書いた文字を瞬時にデジタル化し、 マウス操作をより感覚的にする
訴求 ポイント	- あらゆる場所でデバイス上に文字や絵を書くことができる - PC上のアプリケーションで処理を行うことで、ペン本体はシンプルかつ小型のデザインを実現
競合製品 (特許)	ペン型マウス Apple Pencil
差別化 ポイント	シンプルなデザインにし、どのようなデバイスに対しても、感覚的に使用できる商品であること

商品イメージ (スケッチ・CAD・CG)



訴求：購買意欲に働きかける

神奈川工科大学早期インターンシップ報告フォーム

5

● 開発体制

プロジェクトメンバーと役割：当初の調査から

[商品企画部門]

S・T

[設計開発部門]

E

[資材製造部門]

K

[品質管理部門]

N

[営業部門]

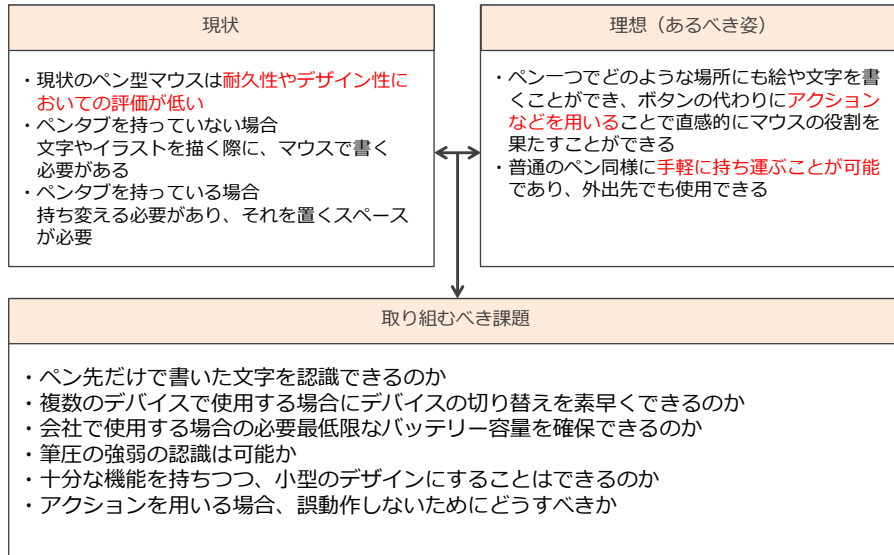
W

神奈川工科大学早期インターンシップ報告フォーム

6

● 課題ピックアップシート

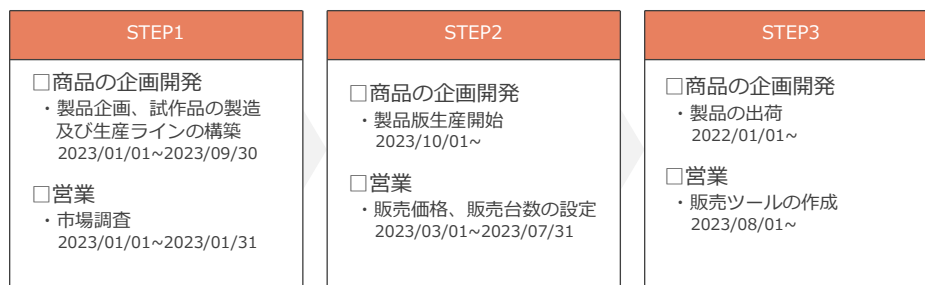
目標：



神奈川工科大学早期インターンシップ報告フォーム

7

● 全体スケジュール（展開ステップ）



神奈川工科大学早期インターンシップ報告フォーム

8

● 各部門の計画・自己評価：商品企画部門（S・T）

1年後に販売予定として、自分の部門が担当する項目（内容）とスケジュールを考える。

項目（内容）	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
ターゲットの設定	→											
競合分析	→											
市場性の研究	→											
実用性の検討	→	→										
経営戦略		→	→	→								

これまで、自分の部門が成し遂げた項目（内容）と達成度を記載し、自己評価してみる。

	項目（内容）	達成度 %	自己評価 10点
1	ターゲットの設定		
2	競合分析		
3	市場性の研究		
4	実現性の検討		
5	経営戦略		

神奈川工科大学早期インターンシップ報告フォーム

9

● 各部門の計画・自己評価：設計開発部門（E）

1年後に販売予定として、自分の部門が担当する項目（内容）とスケジュールを考える。

項目（内容）	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
基本仕様	→	→										
詳細設計			→	→	→					→		
新規技術試作試験					→	→	→					
試作							→	→	→			
量産											→	→

これまで、自分の部門が成し遂げた項目（内容）と達成度を記載し、自己評価してみる。

	項目（内容）	達成度 %	自己評価 10点
1	基本仕様(新規技術要素確認等含む)		
2	詳細設計		
3	新規技術試作試験		
4	試作		
5	量産		

神奈川工科大学早期インターンシップ報告フォーム

10

● 各部門の計画・自己評価：資材製造部門（K）

1年後に販売予定として、自分の部門が担当する項目（内容）とスケジュールを考える。

項目（内容）	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
生産管理												
生産技術												
資材管理												

これまで、自分の部門が成し遂げた項目（内容）と達成度を記載し、自己評価してみる。

	項目（内容）	達成度 %	自己評価 10点
1	生産管理		
2	生産技術		
3	資材管理		
4			
5			

神奈川工科大学早期インターンシップ報告フォーム

11

● 各部門の計画・自己評価：品質管理部門（N）

1年後に販売予定として、自分の部門が担当する項目（内容）とスケジュールを考える。

項目（内容）	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
試作品品質チェック・改善												
生産ラインの構築												
生産ライン製造品品質チェック												
品質・生産ライン改善												
製品版耐久テスト・改善												

これまで、自分の部門が成し遂げた項目（内容）と達成度を記載し、自己評価してみる。

	項目（内容）	達成度 %	自己評価 10点
1	試作品品質チェック・改善		
2	生産ラインの構築		
3	生産ライン製造品品質チェック		
4	品質・生産ライン改善		
5	製品版耐久テスト・改善		

神奈川工科大学早期インターンシップ報告フォーム

12

● 各部門の計画・自己評価：営業部門（W）

1年後に販売予定として、自分の部門が担当する項目（内容）とスケジュールを考える。

項目（内容）	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
市場調査	→											
価格設定		→										
回収計画の立案			→									
広告・販売ツール作成						→						
売り込み										→		

これまで、自分の部門が成し遂げた項目（内容）と達成度を記載し、自己評価してみる。

	項目（内容）	達成度 %	自己評価 10点
1	市場調査		
2	価格の設定(原価の計算・販売台数・販売価格の設定)		
3	回収計画の立案		
4	広告・販売ツールの作成		
5	売り込み		

神奈川工科大学早期インターンシップ報告フォーム

13

● 収支計画 原価計算と販売価格の決定

1. 支出の算出

項目	費用	備考
設計開発費（5人で9ヶ月間開発） 3,000円/h×8時間×20日×9ヶ月×5人=21,600,000円	21,600,000	人件費
初期費用（金型・基板・検査治具・評価設備他） 皆さんの案件であれば200万円～1000万円で計算	4,000,000	イニシャル費
部品費（梱包箱も含む） 製品を1個作成するのに使う部品の費用	1,200	製品原価
製造費（製品を1個製造検査するのにかかる費用） 作るのに1個10分かかる→3,000円/h÷6=500円	500	
輸送費（100個をまとめて箱に入れる工場→本社） 予想費用を算出 輸送費10,000円÷200=50円	50	

★支出の算出

設計開発費:25,600,000円 製造コスト:3,000円 初期製造数:2000個だと・・・
初期費用を含めた総支出は29,100,000円 となります。

初期製造数	2000個	製品原価	1,750円	支出	29,100,000
-------	-------	------	--------	----	------------

14

● 収支計画 原価計算と販売価格の決定

2. 利益の算出

	項目	費用	備考
	販売数量（市場規模より算出） たとえば・・・ 市場規模10万人のうち5%が購入すると仮定 目標販売数量 7000個 300個/月販売	-	
	販売価格（原価と利益を考慮して算出） 販売価格 6,000円 売れる現実的な値付けをする	6,000円	

★収入の算出
販売価格:6,000円 販売台数:7000台だと・・・
収入は42,000,000円 となります。

では利益は・・・

販売数	7000個	販売価格	6,000円	収入	42,000,000円
-----	-------	------	--------	----	-------------

15

● 収支計画 損益分岐点は？

1年目 2年目

		9月・8月	9月	11月	1月	3月	5月	7月	9月	11月	1月	3月	5月	7月	9月	11月
	売上(4000台/月販売)	0	2400	4800	4800	4800	4800	4800	4800	4800	4800	4800	4800	4800	4800	4800
収入の部																
	収入合計	0	2400	4800	4800	4800	4800	4800	4800	4800	4800	4800	4800	4800	4800	4800
支出の部	設計開発費	21,600	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	初期費	4,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	製造費(2000個生産)	3500	0	0	3500	0	0	3500	0	0	3500	0	0	3500	0	0
	販売促進費	0	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	支出合計	29,100	100	100	3600	100	100	3600	100	100	3600	100	100	3600	100	100
	収支	-29,100	2300	4700	1200	4700	4700	1200	4700	4700	1200	4700	4700	1200	4700	4700
	累計	-29,100	-26,800	-22,100	-20,900	-16,200	-11,500	-10,300	-5,600	-900	300	5,000	9,700	10,900	15,600	20,300

★回収計画:販売2年目の1月から事業黒字が見込める
8000台販売すれば・・・約9700万円の利益！！

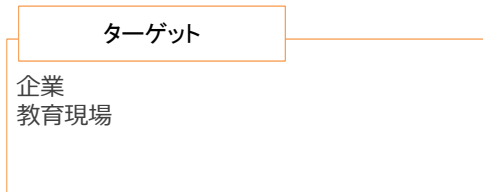
神奈川工科大学早期インターンシップ報告フォーム

16

● まとめ

draw line

Bluetoothでデバイスと接続することで、壁や床などあらゆる場所で文字を書くことができ、PCのマウスとしても使えるペン



17

pdfelement

ご清聴ありがとうございました。

18